



六つの青い芽

(中野木小学校学校便り 10月号 令和6年9月30日)



～ 前期が終わり、後期が始まります ～

中野木小学校長

14日は「スポーツの日」です。1964年に開催された東京オリンピックを記念して「スポーツに楽しみ、健康な心身をつちかう日」とされています。気候も少し落ち着いてきたので、いろいろなスポーツに触れる機会があるといいと思います。

さて、18日は前期の終業式です。4月からの半年間を振り返るとてもいい機会だと思います。児童には前期の通知表が渡されますが、振り返りの一つの材料になると思います。また振り返りと同時に、後期の見通しを持つことも大切です。ここで言う見通しとは、後期の目標を立てることや来年3月までの学校行事を確認して「頑張ろう」という気持ちを高めることです。しっかりと見通しや目標をもつことで、より実りある後期になると思います。また前期を振り返る中で、学校でも機会があるごとに、学年・学級で指導していますが、友達や仲間に思いやりの気持ちをもって、話をしたり行動できたりしたかを振り返ってほしいと思います。もし反省するところがあればそれを直して、みんなが気持ちよく学校生活を送れるようにしていきたいと考えています。ぜひご家庭でも話題にしていただき、学校とご家庭とで協力しながら進めていきたいと思います。

21日からは後期が始まりますが、10月も1年生や4年生の校外学習、5年生の宿泊学習、各出前授業などが計画されています。また、31日(木)には校内音楽会も予定されています。子供たちがこれから練習を積み重ねていく中で音楽の楽しさに触れ、音楽会当日心のこもったハーモニーを体育館に響かせてほしいと願っています。

10月も児童の安全面に十分な配慮しながら進めていきたいと考えています。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします

中野木小学校ホームページ「新着情報」にて、給食と学校生活の様子をお知らせしておりますのでご覧ください。

<https://www.city.funabashi.lg.jp/gakkou/0001/nakanoki-e/0004/index.html>



【お知らせとお願い】

○近隣の方から児童の公園での遊び方について学校に連絡がきています。それぞれの公園にはボール遊びができる・できない等のルールがあります。学校でも指導しますが、ご家庭でもお子さんにお話してください。よろしくお願いいたします。

※中野木川公園 ボール遊び（野球・サッカー等）禁止

※アルピス公園 公園の外にボールが飛び出すなど、他の人に迷惑となるボール遊びは禁止

※飯山満南公園 ボールで遊ぶことはできるが、硬いボールは禁止

○船橋市では、学校の留守番電話設定時間を**5月1日より変更**しています。

〈留守番電話設定時間〉

変更後 平日 午後5時00分 ~ 翌午前8時00分

変更前 平日 午後6時00分 ~ 翌午前7時30分

※欠席等の連絡は、できるだけ電話ではなく、欠席連絡フォーム
をご活用ください。右のQRコード・URLからできます。



<https://forms.gle/2BGxXLEbLXaA43X78>

※留守番電話設定時間の緊急連絡先

児童生徒の事故について 保健体育課 047-436-2876

その他の緊急連絡について 学務課 047-436-2855

【船橋市プラネタリウム館からのお知らせ】

7月のリニューアルオープン以降、多くの方々にご来館いただき、誠にありがとうございます。来館者の中で、小学生のお子さんのみで来館するグループが見られ、心配する声があがりました。

つきましては、9月以降、小学4年生以下のお子さんが一般投映で来館される場合は、保護者の方と一緒に来館をお願いいたします。小学4年生以下のお子さんだけで来館した場合は観覧することができません。何卒ご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。

【10月の行事・下校時刻の追加・変更について】

○22日（火）は4年生の校外学習があります。下校時刻が15時30分になります。

○23日（水）は2年生の町探検があります。予備日25日（水）

○『ひびかせタイム』が22日（火）から29日（火）に変更しました。

【年間行事の変更について】

毎年2月に行われている市内小学生駅伝大会ですが、会場の船橋市運動公園で改修工事が行われるため、今年度は中止となりました。

【10月のスクールカウンセラー出勤日】

午前10時～午後4時

○船橋市スクールカウンセラー 3日(木)10日(木)17日(木)24日(木)31日(木)

○千葉県スクールカウンセラー 8日(火)22日(火)

※面談を希望される方は、担任又は教頭まで連絡ください。

【令和6年度全国学力・学習状況調査の結果から】

4月に行われた、令和6年度全国学力・学習状況調査の結果が7月末に公表されました。本校の結果についてお知らせします。

- ◎・・・本校の平均が、10ポイント以上上回っている。
 ○・・・本校の平均が、1～9ポイント上回っている。
 △・・・本校の平均が、下回っている。

〈各教科の全体〉

	全国	千葉県	本校
国語	67.7	67.0	◎
算数	63.4	63.0	◎

国語、算数ともに、全国の平均正答率を大幅に上回ることができました。上回り方は、算数、国語の順に大きいです。今年の6年生も、学習によく向き合い、確かな学力をしっかりと身に付けていることが分かります。

〈各教科の詳細（学習指導要領の内容・領域）〉

		全国	千葉県	本校	
国語	知識及び技能	言葉の特徴や使い方	64.4	63.2	○
		情報の扱い方	86.9	96.8	○
		我が国の言語文化	74.6	76.1	○
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	59.8	58.7	◎
		書くこと	68.4	66.9	○
		読むこと	70.7	71.0	○

		全国	千葉県	本校
算数	数と計算	66.0	65.9	◎
	図形	66.3	65.5	◎
	変化と関係	51.7	52.1	◎
	データの活用	61.8	61.8	◎

<各教科の詳細（問題形式）>

		全国	千葉県	本校
国語	選択式	69.9	69.5	◎
	短答式	59.7	58.5	○
	記述式	64.6	63.1	○
		全国	千葉県	本校
算数	選択式	75.3	75.3	◎
	短答式	62.0	62.1	◎
	記述式	51.0	50.0	◎

【国語の調査結果にみられる特徴と現状】

- ・全ての学習指導要領の内容において、全国・県平均共に比べて、本校は大幅に上回っています。特に、「思考力、判断力、表現力」の観点において、身に付けた「知識及び技能」を活用する資質能力が長けていることが分かります。
- ・問題形式別に見ても、選択式・短答式・記述式の全てにおいて、全国・県平均共に比べて、本校は上回っています。しかし、選択式及び記述式においては、無解答率が全国・県に比べて高く、10%程になっています。

【算数の調査結果にみられる特徴と現状分析】

- ・全ての領域において、全国・県平均共に比べて、本校は大幅に上回っています。特に、「D データの活用」においては、全国・県平均を大幅に上回っており、学習したことがきちんと身に付いていることが分かります。
- ・問題形式別に見ても、選択式・短答式・記述式の全てにおいて、全国・県平均共に比べて、本校は大幅に上回っています。特に、記述式は平均を大幅に上回っています。しかし、関連付けた知識を活用したり、折れ線グラフを読み取って条件に当てはまる言葉と数を記述したりする問題においては、無解答率が、全国・県平均より高い状況です。

〈児童質問紙〉

学習への興味・関心、規範意識・自己有用感、生活習慣・学習習慣いずれも、全国平均を上回り、良好であることが分かりました。

【自分には、よいところがある】

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
本校	57.7	34.4	5.3	2.6
県	42.3	41.4	10.4	5.8
全国	43.4	40.7	10.5	5.4

「自分にはよいところがあると思いますか」との設問に、「あてはまる」と回答した子供の割合が、全国平均より10ポイント以上も高い結果でした。自己有用感とは、子供一人一人が幸せな人生を築く礎となるものです。学校生活においても、子供が互いの良さに気付く活動、様々に活躍する場を充実させるなどして、思いやりの心とともに大切に育てていきたいと考えています。

【ICT機器を活用することで、友達と協力しながら学習を進めることができる】

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
本校	61.9	32.8	4.2	1.1
県	43.5	41.5	11.6	3.3
全国	46.2	40.9	10.2	2.7

ICT機器活用に関する設問です。協働的な学習について、「あてはまる」との回答が全国平均よりも20ポイント近くも上回っていることは、実にすばらしいです。今後も、学習中において、友達と協力する場面と、自分のペースで取り組んだり、分からないことを調べたりする場面を使い分け、個別最適な学びの実現に向けて取り組んでいきます。

【学校に行くのは楽しいと感じますか】

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
本校	38.6	48.1	8.5	4.8
県	45.1	39.1	10.5	5.2
全国	47.2	37.6	10.2	5.0

「学校に行くのは楽しいと感じますか」との設問に対して、「あてはまる」と回答した子供の割合が、全国・県平均より10ポイント近く下回っています。学習面・生活面において、よりきめ細かな児童への対応が早急な課題となります。